

富山デザインコンペティション2024審査結果 — 受賞者および作品 —

1 グランプリ

浮かバ／杉本 国雄

「浮かバ」は、お風呂に浮かべて水を節約するだけでなく、中空部分に水を入れて生活用水を保存することも可能です。災害時や緊急時には必要な水を手軽に蓄えられ、お風呂で使用する場合には日常から節水に役立ちます。癒しと実用性を兼ね備えたこのアイテムは、安心と環境保護の両立を目指したプロダクトです。



■プロフィール

京都府出身、京都精華大学美術学部デザイン科建築専攻、桑沢デザイン研究所デザイン専攻科プロダクトデザインコース卒業。家電メーカー、デザイン事務所勤務を経て、デザイン事務所「INSIGN」設立。第8回家具デザインコンテスト入賞、東京仕事プロジェクト東京都150周年記念賞、中小企業振興公社理事長賞受賞

2 準グランプリ

五徳から落ちづらい鍋／堀江 勇人

阪神淡路大震災は朝食の準備を行っていた早朝に地震が発生しました。石川県能登地方で起きた地震は夕食の準備を行うであろう時間帯に発生しました。コンロの火は地震時に自動で消える仕様になりましたが、鍋などの調理器具が自らへ向かってきたり足元へ落ちてしまい火傷や怪我などを負う可能性もあります。

底面に凹凸を設けることで鍋が五徳から落ちるのを防ぎ、被害に合う可能性を減らせないかと考えた調理用鍋の提案です。



■プロフィール

1992年生まれ。武蔵野美術大学卒業。ヒューマンコード・ジャパン株式会社チーフデザイナー。文房具、オフィス家具、セキュリティ機器、医療機器、日用品など幅広いジャンルのデザインに携わる。グッドデザイン賞ベスト100、h concept DESIGN COMPETITION2022 グランプリなど受賞。

3 審査員特別賞

ダンボール切り口加工器具／鈴木 忍

ダンボールは内部が空洞になっていますが、本作品は、この切り口を整えるための加工器具です。特殊形状の溝を切り口に押し付けながらスライドさせると、内部が見えなくなるように成形することができます。これにより、ダンボール切り口で手を切る心配がなくなり、また、ダンボール製作品の外観品質を向上させることで、使い捨てのイメージがあるダンボールに新たな価値を付与することができます。



■プロフィール

1959年生まれ。静岡県静岡市出身。愛知県在住で、永年、産業車両関係の仕事に従事した後、退職を機に令和6年度から新たな視点でダンボール関連各種プロダクトの制作を開始。